

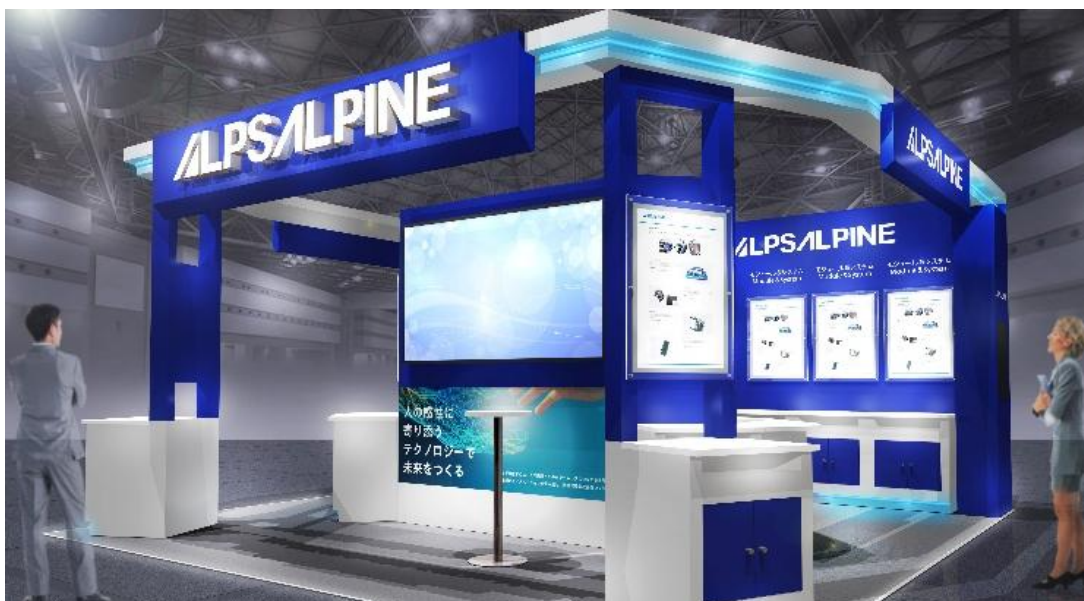
2026年5月25日
アルプスアルパイン株式会社

アルプスアルパイン、人とくるまのテクノロジー展 YOKOHAMA に出展

-HMI・センシング技術の現在と、未来のモビリティ体験を提案-

アルプスアルパイン株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役 社長 CEO：泉英男、以下「アルプスアルパイン」）は、2026年5月27日(水)～29日(金)にパシフィコ横浜にて開催される、人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA に出展します。本展示では新 VISION「人の感性に寄り添うテクノロジーで未来をつくる」をもとに人とくるまのつながりをつかさどる HMI、センシング技術と、未来のモビリティ体験の中でアルプスアルパインが提供する価値を展示します。

当社が培ってきた技術と、未来の車室内空間における新たな価値提案を、ぜひご体感ください。



概要

名称	人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA
会期	2026年5月27日(水)～29日(金)
会場	パシフィコ横浜
ブース No.	341
公式サイト	https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/yokohama/

主な出展アイテム

【次世代 EV 対応 48V 高定格対応検出スイッチ】

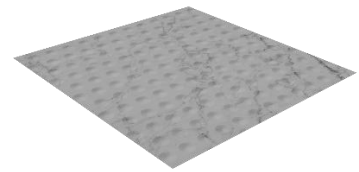
本製品は次世代 EV 車両への搭載ニーズに応えるために 48V 電源電圧に対応した検出スイッチです。

マルチ摺動接点構造により、C 負荷・過電流による寿命耐性を向上させつつ、豊富な取り付け、端子形状やハーネスバラエティを用意しました。また、本体は IP6K7 対応の防塵、防水構造になっています。



【見た目はそのまま、触ると分かる — 機能性触感インテリア】

本技術は、型内塗装工法を用いて成形品表面に視認できない微細形状を付与し、意図した触感を自在にコントロールする技術です。見た目の意匠を変えることなく「ざらざら・さらさら・すべすべ」といった機能性触感を再現でき、フラットパネルにおいても触覚による操作認識を可能とし、車室内におけるドライバーの直感的な操作性（ブラインドタッチ操作等）向上に貢献します。官能評価と統計解析、生理学的知見に基づく設計により、高い再現性と量産適性を両立しています。



【関連情報】 <https://tech.alpsalpine.com/tech-club/events/exhibitions/hitokuru26yokohama/>

以上

<お問い合わせ先>

アルプスアルパイン株式会社コーポレートコミュニケーション部 PR 課

電話 050-3613-1581（部門直通）

E-mail alpsalpine-pr@alpsalpine.com